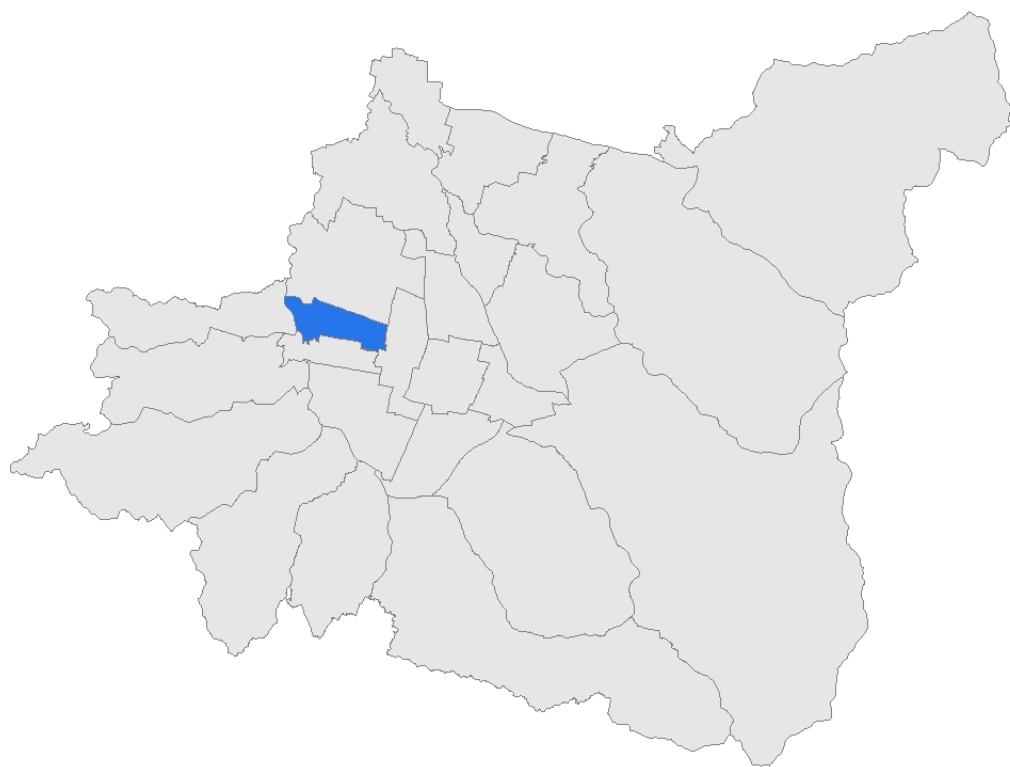


山形市都市計画マスタープラン地域別構想

榎沢地区



山形市

地域別構想の役割

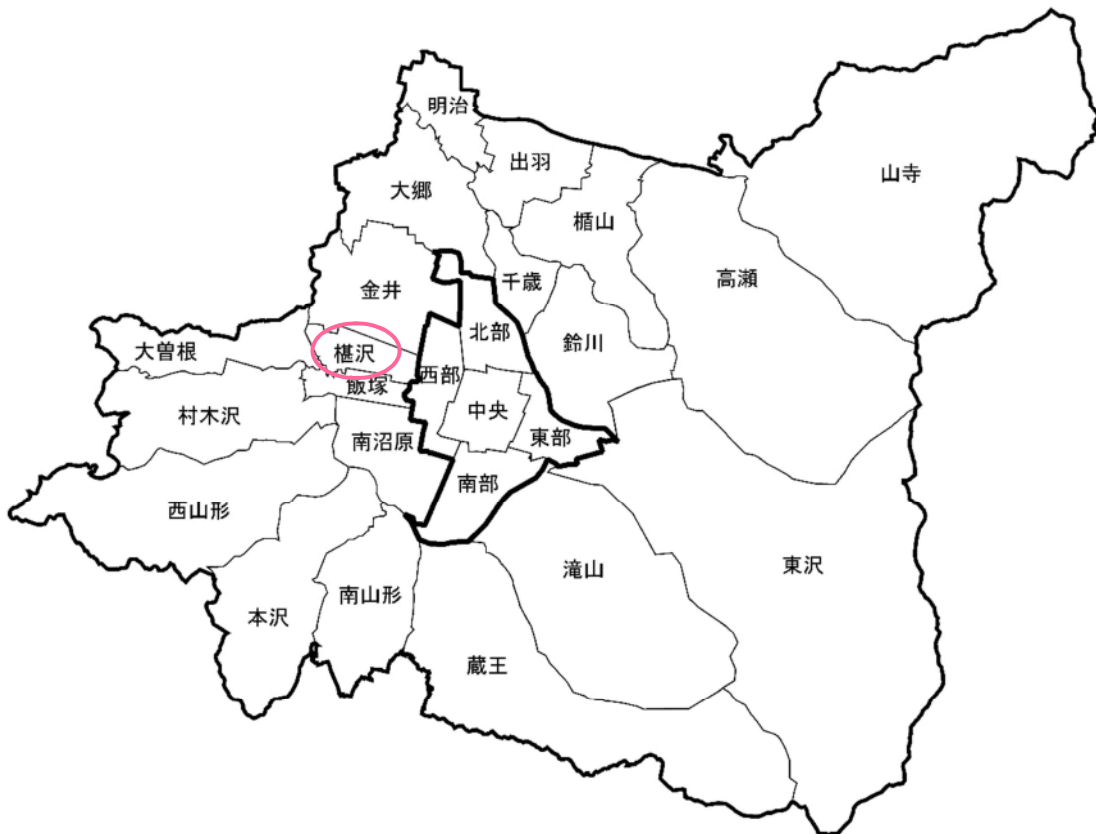
■地域別構想とは

全体構想や分野別構想における各地域の位置づけ等を踏まえ、地域特性や固有の課題に応じた地域ごとのまちづくりの方針を示すものです。

■地域区分の考え方

都心地域については、歴史的な経過や地理的条件、地域特性などから、ある一定のまとまりをもってまちづくりを考える地域として東西南北中央の5つの地域に区分します。

都心地域以外の地域については、旧村単位の地域ごとに地域づくりの拠点として、コミュニティセンターが設置され、それぞれの地域ごとに独自のまちづくり活動を展開していることから旧村区域により20の地域に区分します。



1 地域の特徴と課題

地域の特徴

◆馬見ヶ崎川扇状地の西端に位置し、平坦で肥沃な田園風景が広がる地区です◆

- ・地区大半は圃場整備のされた優良農地（農振農用地）で占められ、地区内を東西に走る（都）双月志戸田線（主要地方道山形朝日線）の南側に集落が広がっています。
- ・上樫沢集落の南側に、地区の地域環境保全活動としてコスモス畑・ひまわり畑が整備され、咲き広がる花々は季節の風物詩になっています。
- ・山形県内で初めて水圧を利用した「水道」が布設された地域であり、下樫沢八幡神社境内にその偉業をたたえる記念碑があります。



ひまわり畑



八幡神社の水道記念碑

◆東北中央自動車道と山形中央インターチェンジにより直結する地区です◆

- ・東北中央自動車道の福島－東根間全線開通に伴い、山形中央インターチェンジは山形市の新たな玄関口となることが見込まれています。
- ・山形中央インターチェンジにより東北中央自動車道と接続する（都）双月志戸田線は、市街地周辺部と都心を繋ぐとともに、高速交通網へのアクセス性を高める道路として、都心直結道路に位置づけられる主要な幹線道路です。
- ・県都として周辺都市との連携を高めるための基軸となる（都）樫沢山辺中山線の事業化に向けた動きが加速しています。

◆広域的な交通ネットワークの優位性を活かした土地利用が進んでいます◆

- ・地区内の（都）双月志戸田線は第1次または第2次の緊急輸送道路に位置づけられており、沿線に西部地域の消防活動の拠点となる山形市西消防署が配置されています。
- ・交通結節点である山形中央インターチェンジに近接する広域交通の利便性を活かし、山形中央インター産業団地が位置しています。
- ・国道112号のバイパスルートとしての（都）樫沢山辺中山線の整備を見据え、道の駅の設置に向けた検討が進められています。

◆人口減少傾向にあり、高齢化が進んでいます◆

- ・地区の人口は、20年間でおよそ13%減少し、人口の減少傾向が続いています。
- ・人口に占める高齢者の割合は35.6%となっており、20年間で倍増しています。市域全体の27.1%と比較しても、極めて高い割合となっています。

	樺沢地区				
	総人口(人)	～14歳	15～64歳	65歳～	年齢不詳
平成7年	2,314	360	1,546	408	0
平成27年	2,013	221	1,076	716	0
増加数	-301	-139	-470	308	0
	山形市全域				
平成27年	253,832	31,869	151,271	68,745	1,947

◆買い物の便利さ、公共交通の利用しやすさに対する満足度が低くなっています◆

- ・地区内に日常生活に必要な買い物ができる施設がなく、買い物の便利さに対する満足度が低くなっています。
- ・市民アンケートにおいて、通勤、通学のしやすさについて、満足と不満足との割合が拮抗しています。主要幹線道路へのアクセスがしやすいことから、自家用車を利用する方の満足度が高いことが伺えます。
- ・反面、自家用車を利用できない高齢者などの足となる公共交通の利用しやすさに対する満足度が非常に低くなっています。集落内をカバーする路線バスがありますが、運行本数やダイヤの面から利用しにくいとの意見が出されています。

◆地区の西側を須川が、地区の集落内を王川が流れています◆

- ・須川の河川改修にあわせ、河川空間を有効活用したグランドゴルフ場が整備され、地域住民のレクリエーション活動の拠点となっています。
- ・須川から東北中央自動車道付近までの地域は浸水想定区域に指定されています。
- ・下樺沢の集落内を流れる王川は、準用河川に指定され、改修が完了しています。

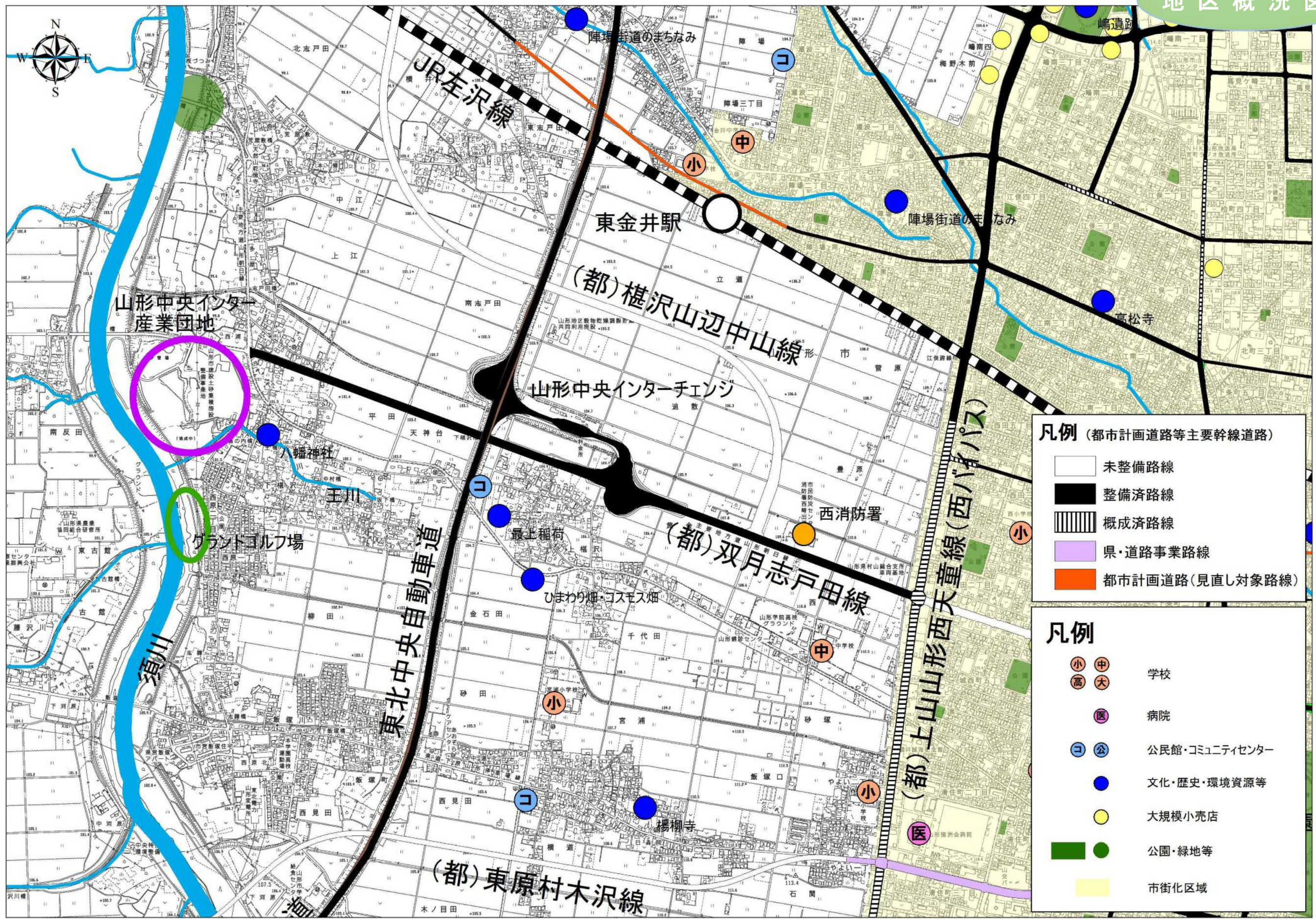


須川



王川

地区概況図



凡例 (都市計画道路等主要幹線道路)

	未整備路線
	整備済路線
	概成済路線
	県・道路事業路線
	都市計画道路(見直し対象路線)

凡例

		学校
		病院
		公民館・コミュニティセンター
		文化・歴史・環境資源等
		大規模小売店
		公園・緑地等
		市街化区域

土地利用に関する課題

- ・東北中央自動車道福島―東根間が全線開通することに伴い、山形中央インターチェンジ周辺は山形市の新たな玄関口になることが見込まれることから、これに見合った新たな土地利用に対する需要への対応について検討する必要があります。
- ・新たな土地利用についての検討においては、周辺の営農環境に配慮するとともに、市全体の都市機能の配置の考え方や中心市街地の活性化への影響を十分考慮する必要があります。
- ・人口減少と高齢化の進展を踏まえ、地区内への定住・回帰を促進するための新たな居住環境の創出が必要です。
- ・豊かな田園は農業の生産基盤であるとともに、国土の保全や水源の涵養、良好な景観の形成など多面的な機能を有する貴重な財産であることから、維持・保全のうえ、次世代へ引き継ぐ必要があります。



(都) 双月志戸田線



地区周辺の優良農地

交通に関する課題

- ・山形中央インターチェンジが位置する拠点性を活かし、地区内外さらには市内外の連携・交流促進に資する広域交通ネットワークの更なる機能強化が求められています。
- ・山形中央インター産業団地の立地により、通過交通の増加が予想されていますが、集落内の道路が狭隘なため、歩行者の通行の安全性確保に課題があります。
- ・地区内を路線バスが走っていますが、中心市街地直結の一路線のみで、本数も2時間に1本となっており、さらなる高齢化の進展を見据え、利便性の向上が求められています。
- ・地区内に日常生活に必要な機能を有する施設がないため、自家用車を利用できない高齢者などの交通弱者の生活の足の確保が課題になっています。

その他まちづくりに関する課題

- ・須川の河川改修（築堤）は完了していますが、河道断面が完成形でないため流下能力が低く、大雨の際の洪水の危険性がまだまだ高い状況です。
- ・山形中央インター産業団地は、市街化調整区域内の産業団地であることから周辺の集落や営農環境に配慮した団地形成が求められます。
- ・都市計画マスタープランの策定を契機とし、住民が地域を深く理解することで、住民によるまちづくり活動への積極的な参画を促し、行政がこれを支援する仕組みづくりが求められています。



洪水ハザードマップ



山形中央インター産業団地

地域の声（意見交換会での意見や地域の要望など）

【土地利用】

- ・山形中央インターチェンジ周辺ならびに（都）双月志戸田線沿線の土地利用について定める「新榎沢街づくり構想」が地域主導で策定され、構想の実現に向けた要望活動が展開されています。
- ・若者の定住促進に向け、新たなコミュニティの形成が期待できる10戸程度の小規模住宅地の開発を求める声があります。

【交通】

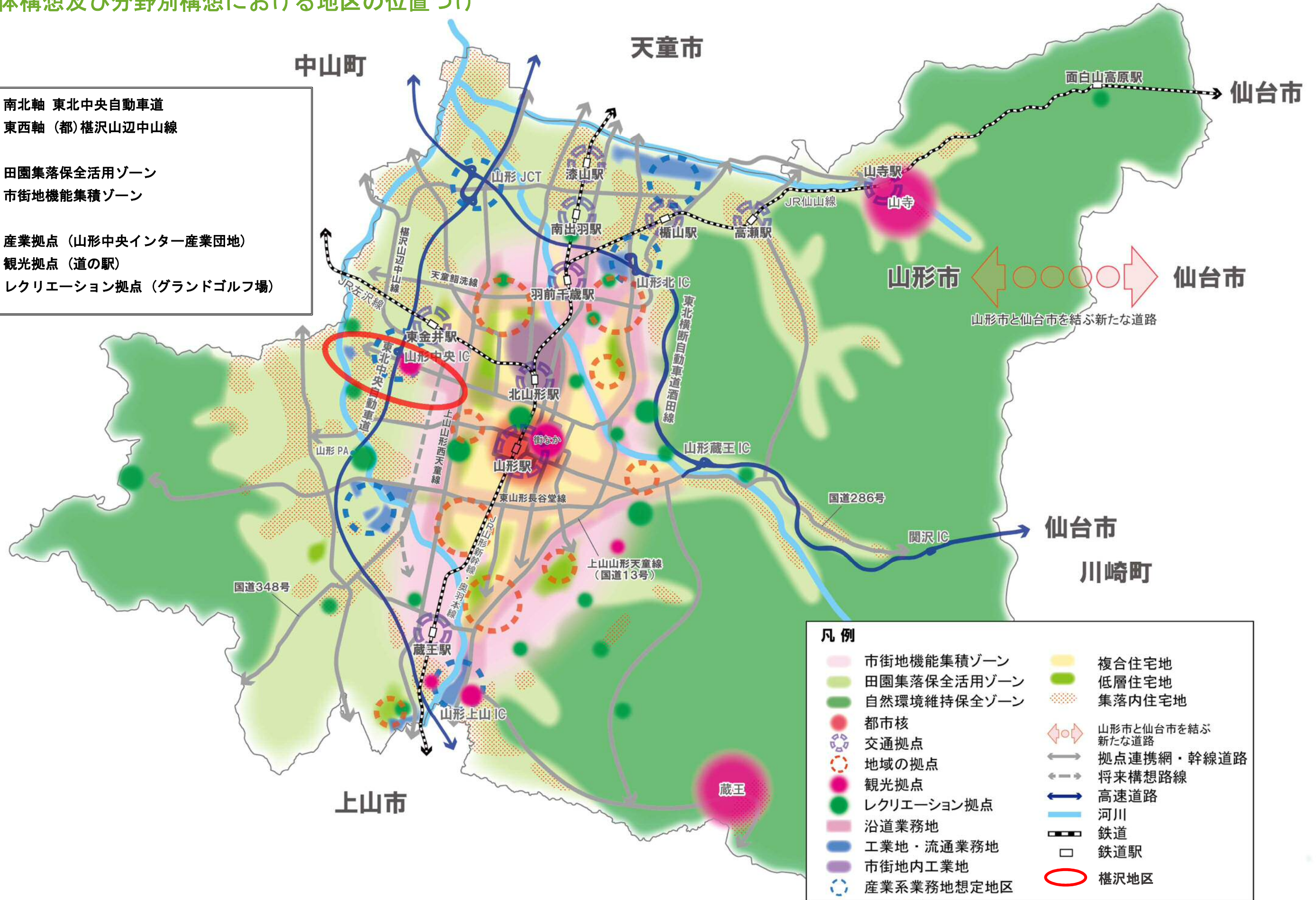
- ・道の駅を含む周辺の土地利用を見据え、（都）榎沢山辺中山線の（都）双月志戸田線より南方向への延伸が要望されています。

【その他まちづくり】

- ・地区内に整備が予定されている「道の駅」による賑わい創出に大きな期待が寄せられており、道の駅を核とした周辺の一体開発ならびになるべく早期の整備を求める声があります。

2 全体構想及び分野別構想における地区の位置づけ

- (都市軸) 南北軸 東北中央自動車道
東西軸 (都) 榎沢山辺中山線
- (ゾーン) 田園集落保全活用ゾーン
市街地機能集積ゾーン
- (機能拠点) 産業拠点 (山形中央インター産業団地)
観光拠点 (道の駅)
レクリエーション拠点 (グランドゴルフ場)



3 まちづくりの基本方針

主要な交通軸が交差する交通結節点機能を活かした

適切な土地利用の誘導による賑わいのあるまちづくり

土地利用に関する方針

- 東北中央自動車道の開通に伴う市の新たな玄関口としての役割を踏まえ、適切な土地利用の誘導による新たな交流・産業拠点の形成を図ります。
 - ・極めて高い交通利便性を活かした、山形市の玄関口としてふさわしい土地利用の検討
 - ・観光拠点である道の駅「(仮称) 山形中央 I C」の整備推進
 - ・山形中央インター産業団地の地区計画を活用した適切な土地利用の推進
 - ・周辺環境に配慮した新たな雇用の受け皿となる産業・工業系土地利用の検討
- 地区の魅力を活かした良好な居住環境の形成による定住人口の維持・確保を図ります。
 - ・開発許可制度の見直し等による既存集落内への移住・定住の促進
 - ・空き家バンクや住宅リフォーム支援などを活用した空き家対策による移住者向け住環境の整備推進
 - ・日常生活サービス機能の確保・充実による生活利便性の向上
- 農業の生産基盤であるとともに都市の営みにうるおいを与える豊かな田園などの優良農地は、担い手の確保・育成を図りながら、保全・活用します。
 - ・後継者や新たな担い手の確保による耕作放棄地の発生抑制と優良農地の保全
 - ・道の駅「(仮称) 山形中央 I C」と連携した農業振興施策の推進

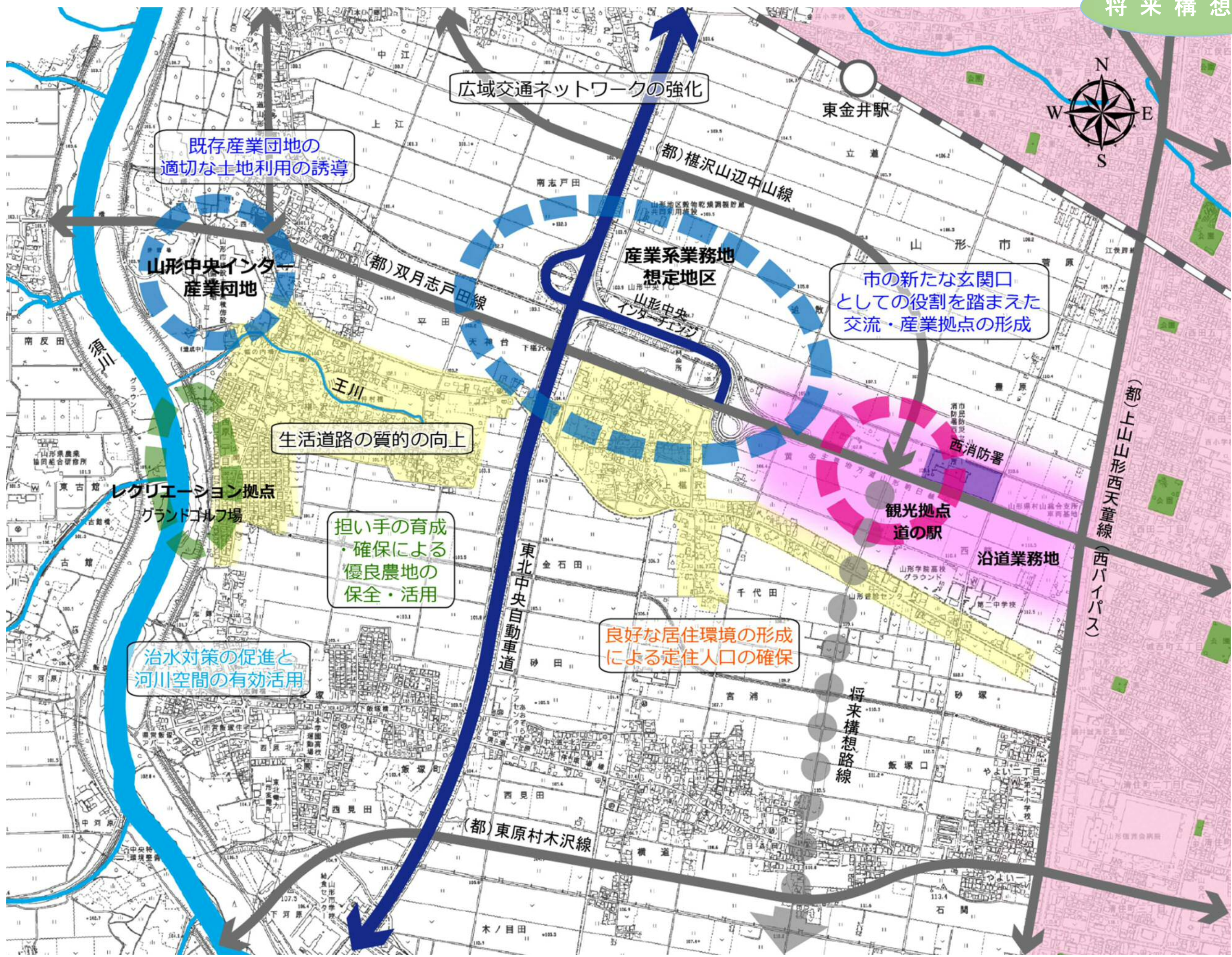
交通に関する方針

- 地域間の連携と交流を支える主要幹線道路の整備を促進し、広域交通ネットワークの強化を図ります。
 - ・(都) 樺沢山辺中山線(東西軸、地域間接続道路)の整備促進

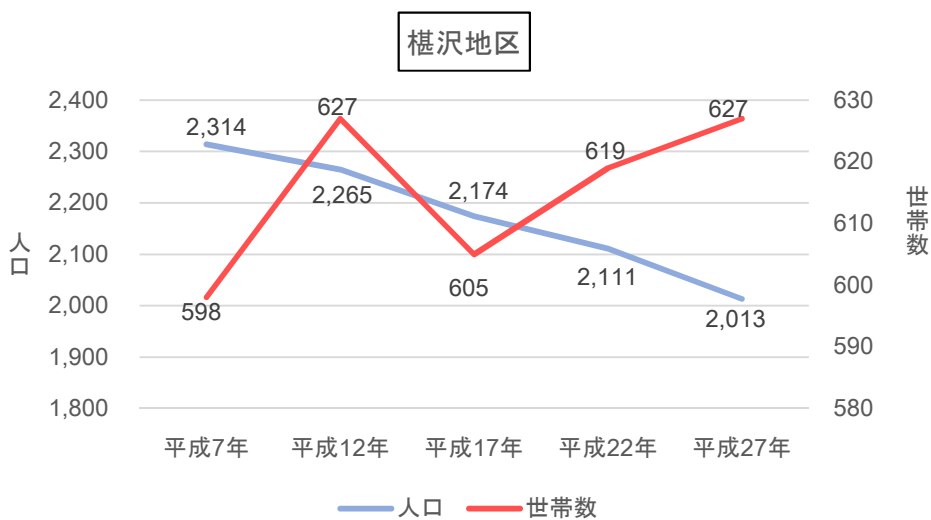
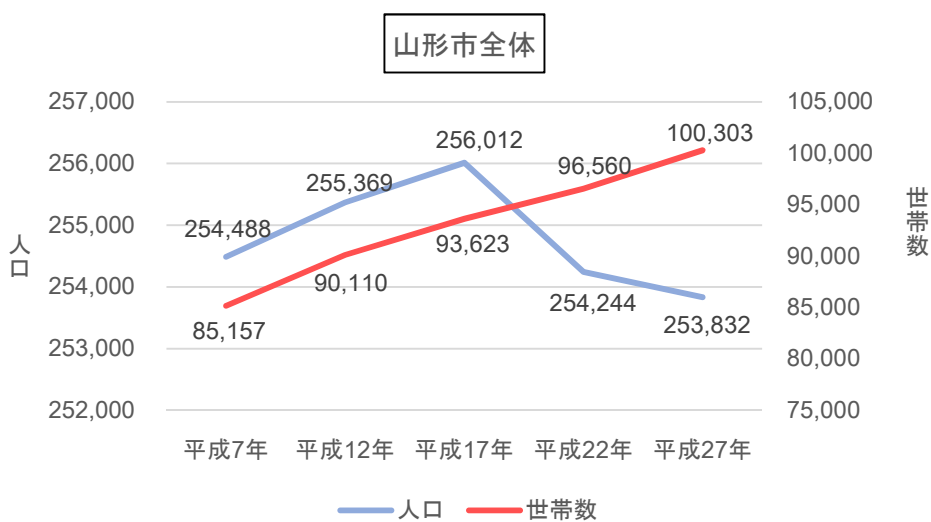
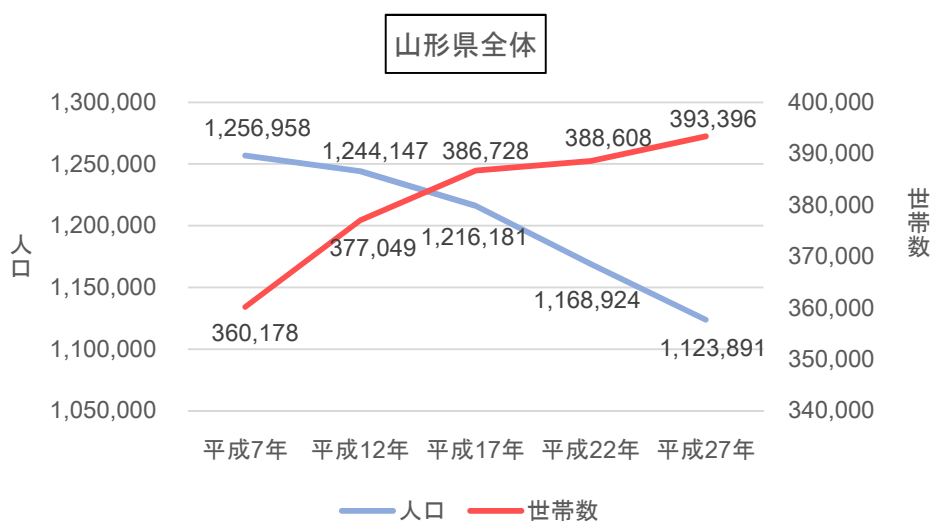
- 生活道路の質的向上により、歩行者の安全の確保を図ります。
 - ・狭隘な集落内道路の部分改良による、日常生活の利便性及び安全性の確保
 - ・山形中央インター産業団地の稼動に伴う通過交通の増加を踏まえた対策の検討
- ニーズを踏まえた公共交通網の再編により、公共交通の利用を促進します。
 - ・地域住民の交通行動に沿った路線バスの再編検討
 - ・小規模需要に対応した地域主体の交通事業の導入支援
 - ・公共交通の利用促進による路線の確保・維持

その他まちづくりに関する方針

- 新たな観光拠点道の駅「(仮称)山形中央IC」の整備により、市のブランド力と情報発信力の強化を図ります。
 - ・目的とニーズを踏まえた道の駅の規模及び導入機能の検討
 - ・整備に対する民間活力導入の検討
 - ・(都)榎沢山辺中山線(東西軸、地域間接続道路)の整備促進(再掲)
- 須川や王川の治水対策の推進による浸水被害の軽減と洪水ハザードマップの見直しにあわせた防災体制の構築により、水害に強いまちづくりを進めます。
 - ・須川の河道掘削工事の事業促進
 - ・王川の河床浚渫による流水機能の確保
 - ・地域住民への洪水ハザードマップの普及・周知
 - ・災害発生時の迅速かつ適切な避難に向けた防災意識の高揚・啓発
- 須川の魅力ある河川空間は、市民のふれあいやレクリエーション活動の拠点として保全・活用します。
- 地域別構想の実現に向けた効率的かつ効果的なまちづくりを進めるため、地域の自主的なまちづくり活動に対する支援を図ります。
 - ・まちづくりに関する専門家の紹介や派遣、情報提供
 - ・地域のまちづくり活動に対する市職員の積極的な派遣と活動支援



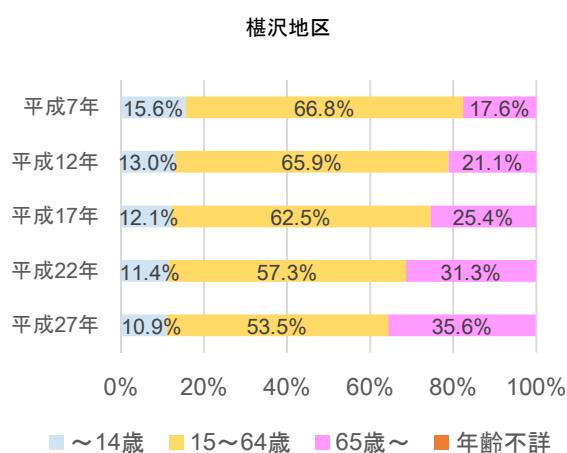
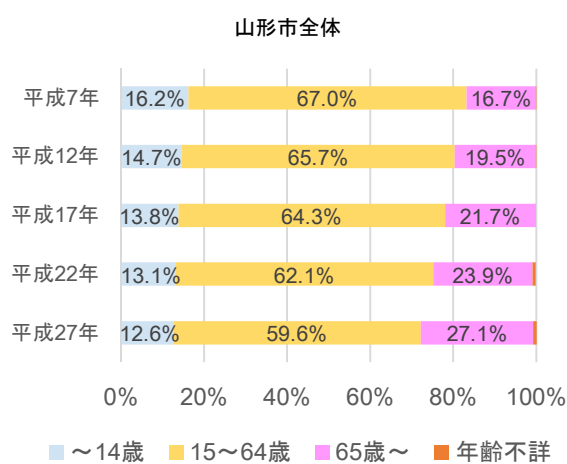
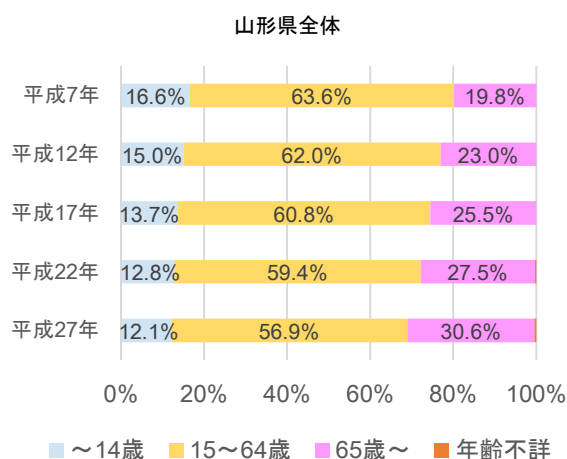
① 人口・世帯数



出典：国勢調査

【地域データ】

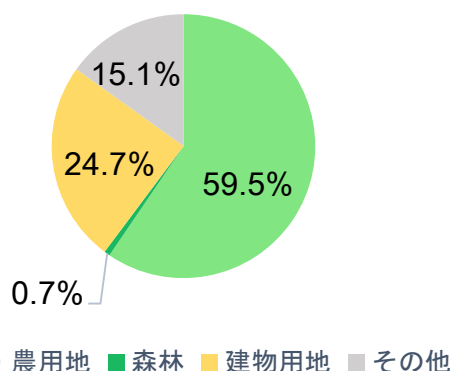
② 年齢構成比



出典：国勢調査

③ 土地利用割合 (H26)

地区の総面積 291ha



出典：国土数値情報（土地利用細分メッシュ）

④ 産業別就業者数

	平成7年	平成17年	平成27年
第1次	117	159	71
第2次	360	287	233
第3次	705	670	618
分類不能	7	27	21

出典：国勢調査

⑤ 産業別事業所数・従業員数

		平成18年	平成24年
事業所数 (件)	第1次	0	1
	第2次	17	27
	第3次	45	43
		平成18年	平成24年
従業員数 (人)	第1次	0	7
	第2次	146	162
	第3次	251	263

出典：事務所・企業統計(H18)、経済センサス(H24)

⑥ 商店数

	平成9年	平成26年
商店数(店)	21	16
店舗面積(m ²)	497	484

出典：商業統計

榊沢地区

【地域データ】

⑦ 居住住宅種類

	平成7年	平成17年	平成27年
持ち家	580	587	617
公営住宅	0	0	0
民営借家	14	17	8
給与住宅	2	0	0
間借り	2	1	1
住宅以外	0	0	0

出典：国勢調査

⑧ 道路

国道	県道	その他	合計
0.0km	2.5km	16.7km	19.2km

出典：DRM（H28）のGISによる図上計測

⑨ 都市計画道路の整備状況（H29.4.1現在）

整備済延長	事業中延長	未整備延長	計画延長
3.4km (96.4%)	0.0km (0.0%)	0.1km (3.6%)	3.5km

※整備済延長には概成済及び暫定2車線供用済路線を含む

※()内は計画延長に対する割合

出典：GISによる図上計測

⑬ 新築動向（H24～28）

	専用住宅	その他住宅	商業施設	工場・倉庫	宿泊施設	娯楽施設	病院
戸数（戸）	37	0	0	5	0	0	2
面積（㎡）	4,481.2	0	0	443.5	0	0	403.5

出典：山形市資料

⑩ 公園・緑地（H29.4.1現在）

計画箇所	計画面積	開設箇所	開設面積	㎡/人
0	0	1	0.27	1.34

出典：山形市資料

⑪ 農地転用（H24～28）

田		畑	
件数	面積（㎡）	件数	面積（㎡）
1	892	3	630

出典：山形市資料

⑫ 開発許可申請状況（H24～28）

市街化区域		市街化調整区域	
件数	面積（㎡）	件数	面積（㎡）
0	0	17	134,096

出典：山形市資料

【地域データ】

⑭ 公共施設

小学校	
中学校	第二中学校
高校	
特別支援学校	
大学	
専修学校等	
認定こども園	
認可保育所	
幼稚園	
公官庁等(県・市)	
公民館・コミュニティセンター	榎沢コミュニティセンター
文化施設	
高齢者福祉施設	
その他の福祉施設	
スポーツ・レクリエーション施設	
病院	
警察署	西部交番
消防署	山形市西消防署本署